

( 8 ) 災害に伴う事務 (No. 1)

作成書類				作成者		提出先					記載 例 No	添付書類 ・ 備考 ◎は必ず添付 ○は該当者のみ添付
区分	形態	書類の名称	部数	本人	学校	学校	教委	教事	県教	共済		
庶務	休暇	特別休暇願	1	1		1					1-1 1-2 1-3	災害による現住居の滅失損壊 災害による交通遮断 災害時に退勤途上の身体の危険を回避するためやむを得ない場合
共済 組合	見舞金関係	災害見舞金・同付加金請求書	1	○						1	2	○被害写真
		住居の被害明細書	1	○						1	3-1 3-2	※浸水状況等がわかるようにモノサシ等を当てて撮影する
		住居の被害内訳書	1	○						1	4-1 4-2	
		家財の被害明細書	1	○						1	5	
	貸付金関係	災害貸付申込書	1	○						1	6-1	◎貸付事業における個人情報 ◎借入状況等申告書 市町村長又は消防署長の証明
		住宅災害貸付申込書	1	○							6-2	
		災害貸付け借用証書	1	○						1	7	
		罹災証明書	1	○						1	8	
		災害等事業資金										◎災害救助法が発動された場合 3 万円の資金
税金		所得税確定申告書	1	○		所轄税務署					9	◎罹災証明書その他必要に応じて証明する書類
		災害資産の明細書	1	○							10	
庶務 公 務 災 害	公	意見具申書	3		○		3				11	◎出勤簿の写し（所属長の原本証明入り）
		公務災害認定請求書	3	○			3				12-1 12-2	◎校務分掌表（所属長の原本証明入り） ◎日課表
	務	校長の申立書	3		○		3				13	◎時間割、行事計画書
		災害発生状況図	3		○		3				14	◎治療状況報告書
	災 害	現認書・災害発生状況報告書	3		○		3				15	◎状況写真 ※現認者が学校以外の者であれば、その該当者に作成してもらう。
		療養補償請求書	1	○							16-1	○領収書等
		療養補償請求書	1	○		受診医療機関					16-2	
		療養の給付請求書	1	○							17	
		療養費請求書	1	○							18	

## (8) 災害に伴う事務 (No. 2)

[illegible]

決 裁		確 認	
校 長		教 頭	

様式 22 の 1（休暇願）

平成○ 年○ 月○ 日	
肥後町立阿蘇小学校 校長 一の宮 隆 様	
肥後町立阿蘇小学校 職名 教諭          氏名 熊本 太郎          印	
<b>（ 病 気 ・ 特 別 ） 休 暇 願</b>	
下記のとおり（ 病気・特別 ）休暇を受けたいので承認くださるよう申請します。	
記	
1 期間	平成○ 年○ 月○ 日（    時    分）から 平成○ 年○ 月○ 日（    時    分）まで          ○日（    時）間
2 事由	水害による現住居の滅失損壊のため  （ ※一週間を超えない期間内で必要と認める日数）
3 その他参考となる事項	   
上記休暇については <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 200px; height: 20px; vertical-align: middle;"></span>	
平成    年    月    日 肥後町立阿蘇小学校長    一の宮 隆    印	

- （注） 1 （病気・特別）の該当するものを○で囲むこと。
- 2 期間の欄の（    時）内は、病気休暇のうち私傷病による休暇、公務傷病による休暇、特別休暇のうち女子職員が生理日の就業が著しく困難である場合の休暇等について記入すること。
- 3 事由欄には、具体的に詳細に記入すること。  
 例えば 私傷病による休暇・・・・・・・・・・頭痛、風邪等の病名  
 親族が死亡した場合の休暇・・・・・・・・死亡者との続柄、死亡年月日及び居住地等
- 4 休暇日数が勤務を要しない日を除き、引き続き6日を超える場合は診断書等を添付すること。
- 5 ☐ 欄には、「承認する」又は「承認しない」を直筆で記入する。
- 6 校長の5日以上、職員の10日以上の休暇願の場合、2部提出すること。

決 裁		確 認	
校		教	
長		頭	

## 様式22の1（休暇願）

平成○ 年○ 月○ 日

肥後町立阿蘇小学校  
校長 一の宮 隆 様

肥後町立阿蘇小学校

職名 教諭 氏名 熊本 太郎 印

## （ 病 気 ・ 特 別 ） 休 暇 願

下記のとおり（ 病気・特別 ）休暇を受けたいので承認くださるよう  
申請します。

## 記

- 1 期間 平成○ 年○ 月○ 日（ ○時 ○分）から 日（ ○ 時）間  
平成○ 年○ 月○ 日（ ○時 ○分）まで
- 2 事由  
水害による交通遮断のため
- 3 その他参考となる事項

上記休暇については

平成 年 月 日

肥後町立阿蘇小学校長 一の宮 隆 印

- （注） 1 （病気・特別）の該当するものを○で囲むこと。  
2 期間の欄の（ ○ 時）内は、病気休暇のうち私傷病による休暇、公務傷病による休暇、特別休暇のうち女子職員が生理日の就業が著しく困難である場合の休暇等について記入すること。  
3 事由欄には、具体的に詳細に記入すること。  
例えば  
私傷病による休暇・・・・・・・・頭痛、風邪等の病名  
親族が死亡した場合の休暇・・・・死亡者との続柄、死亡年月日及び居住地等  
4 休暇日数が勤務を要しない日を除き、引き続き6日を超える場合は診断書等を添付すること。  
5 ☐ 欄には、「承認する」又は「承認しない」を直筆で記入する。  
6 校長の5日以上、職員の10日以上 of 休暇願の場合、2部提出すること。

決 裁		確 認	
校		教	
長		頭	

様式 22 の 1（休暇願）

平成○ 年○ 月○ 日

肥後町立阿蘇小学校  
校長 一の宮 隆 様

肥後町立阿蘇小学校

職名 教諭 氏名 熊本 太郎 印

（ 病 気 ・ 特 別 ） 休 暇 願

下記のとおり（ 病気・特別 ）休暇を受けたいので承認くださるよう  
申請します。

## 記

- 1 期間 平成○ 年○ 月○ 日（ ○時 ○分）から 日（ ○ 時）間  
平成○ 年○ 月○ 日（ ○時 ○分）まで
- 2 事由  
水害による退勤途上の身体の危機を回避するため
- 3 その他参考となる事項

上記休暇については

平成 年 月 日

肥後町立阿蘇小学校長 一の宮 隆 印

- （注） 1 （病気・特別）の該当するものを○で囲むこと。  
2 期間の欄の（ 時）内は、病気休暇のうち私傷病による休暇、公務傷病による休暇、特別休暇のうち女子職員が生理日の就業が著しく困難である場合の休暇等について記入すること。  
3 事由欄には、具体的に詳細に記入すること。  
例えば  
私傷病による休暇・・・・・・・・頭痛、風邪等の病名  
親族が死亡した場合の休暇・・・・死亡者との続柄、死亡年月日及び居住地等  
4 休暇日数が勤務を要しない日を除き、引き続き6日を超える場合は診断書等を添付すること。  
5 ☐ 欄には、「承認する」又は「承認しない」を直筆で記入する。  
6 校長の5日以上、職員の10日以上の休暇願の場合、2部提出すること。

災害見舞金  
請求書  
同附加金

※	災害見舞金	合計額			
決	円	円			
定	同上附加金				
額	円				
※	住居				
判	家財				
定					
請求金額	災害見舞金 同上附加金	410,020 円 246,012 円	災害当時の掛金 の基礎となった 給 料 額	328,016 円	送 金 先
組合員証 番 号	第 ××××××× 号	組 合 員	氏名	熊本 太郎 S ○年 ○月 ○日生	肥 後 銀 行
所属所 コード	××××××		住所	肥後郡黒川町大字白川 4 5 番地 6	
所属所名	肥後町立阿蘇小学校	組合員証に記載 されている被扶 養者の有無	有 無		肥 後
罹 災 年月日	平成 ○年 ○月 ○日	上記被扶養者と の別居、同居 の 区 別	同居 別居		支 店
罹災場所	肥後郡黒川町大字白川 4 5 番地 6	住居区分	自宅 借家 貸間 下宿 その他		口 座 番 号
罹災の 種 別	水害	建物種別	平屋建 二階建 その他		
摘 要					×
上記のとおり請求します。 公立学校共済組合熊本支部長 様 平成 ○年 ○月 ○日 住所 肥後郡黒川町大字白川 4 5 番地 6 請求者 氏名 熊本 太郎 熊本					×
上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。 平成 ○年 ○月 ○日 所属所所在地 肥後郡肥後町大字阿蘇 1 2 番地 3 所属所名 肥後町立阿蘇小学校 所属所長職氏名 校長 一の宮 隆					×

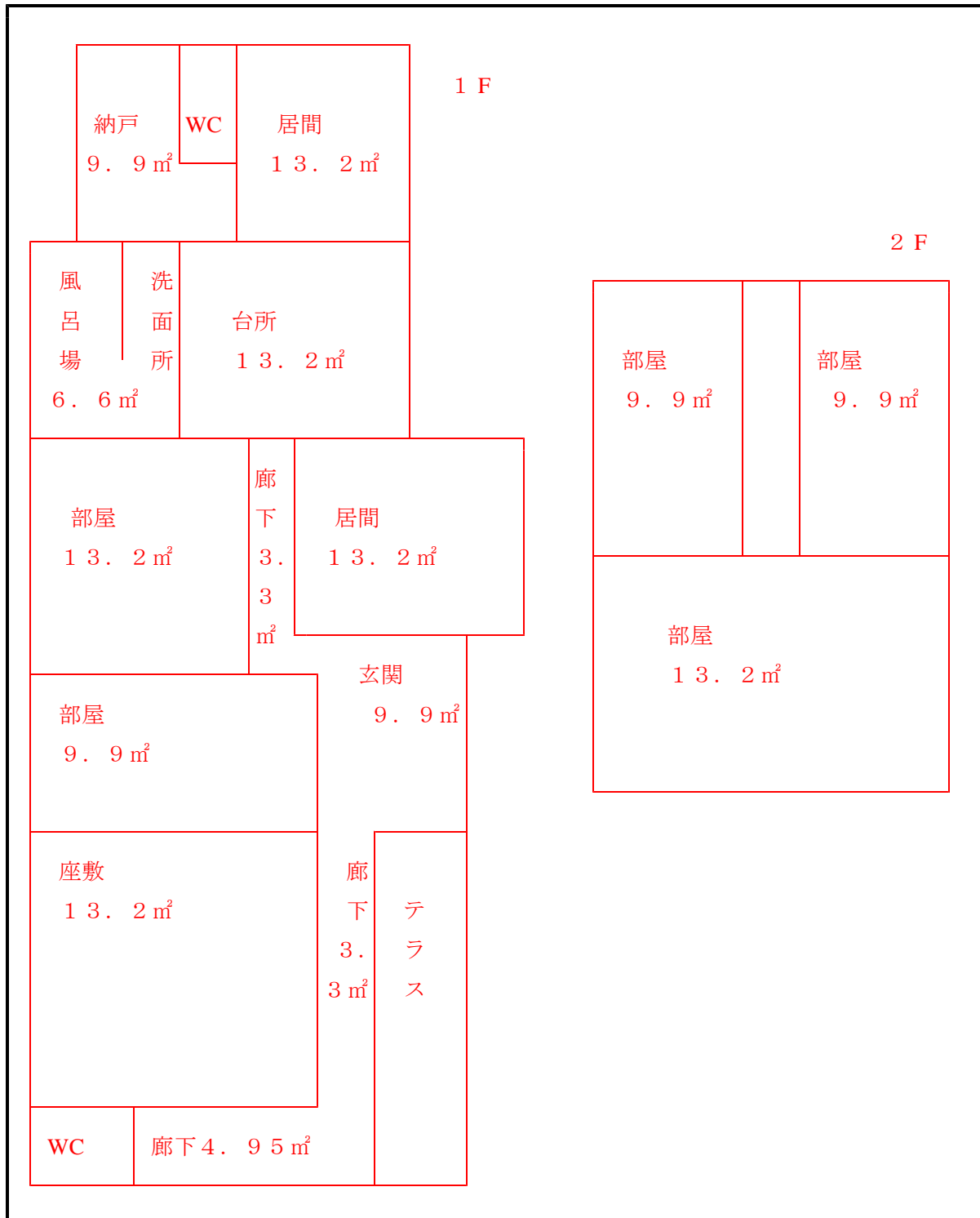
1. 別居している被扶養者が罹災した場合には、摘要欄に組合員の住所及び家財について状況を詳しく書いて下さい。
2. ※印欄は記入しないで下さい

別紙 1

住居の被害明細書

組 合 員 氏 名	熊本 太郎	家 族 の 構 成			
		氏 名	続 柄	年 齢	職 業
所 属 所 名	肥後町立 阿蘇小学校	熊本 花子	妻	4 5	無
		熊本 一郎	子	2 2	学生
住 居 の 総 面 積	1 5 0 . 1 5 m <sup>2</sup>	熊本 初美	子	2 0	学生
		熊本 次代	子	1 9	学生
被 害 面 積	1 0 3 . 9 5 m <sup>2</sup>	熊本 二郎	子	1 7	学生
		熊本 三枝	子	1 5	学生
住居 の 区分	自宅 借家 借間 下宿 公営住宅	熊本 三郎	子	1 3	学生
住居 付近の 略 図					

# 住居の平面図



## 記入上の注意

1. 被害箇所は赤線で明示し各室の名称と面積を必ず記入して下さい。
2. 物置及び門、堀、石垣、垣根等は住居ではないので記入しないで下さい。
3. 罹災状況写真を添付して下さい。



別紙1の2

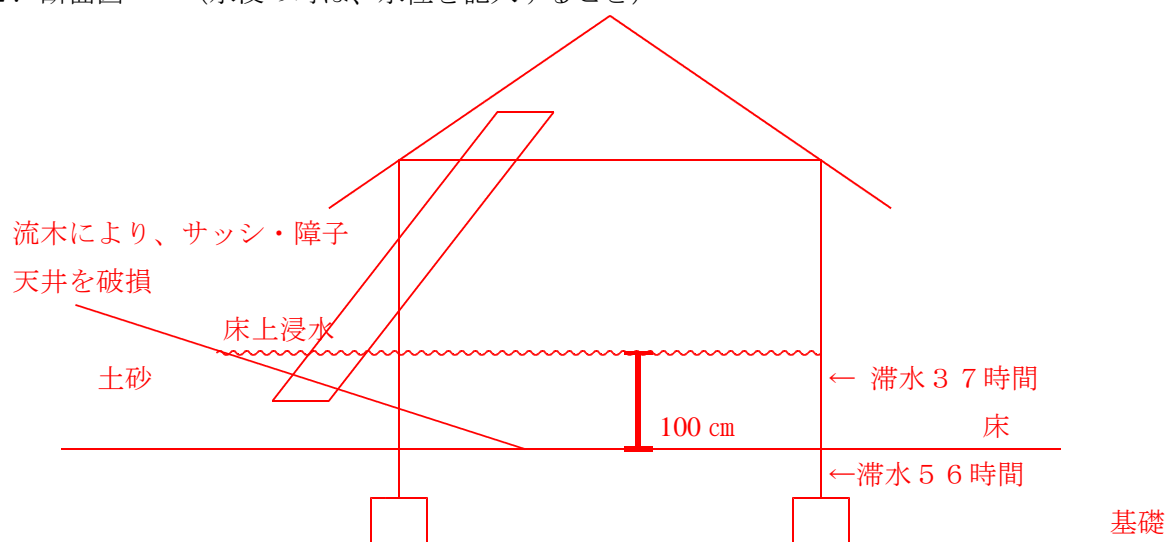
## 住居の被害内訳書

組合員氏名	熊本 太郎		家屋の種別	木造2階建	
所有者氏名	同 上		災害の種類	水害	
同上の住所	肥後郡黒川町大字白川45番地6		災害の年月日	平成〇〇年〇月〇日	
住居の損害の内訳書					
品 目	単位	単 価	数量	金 額	被害箇所
アルミサッシ		100, 000	4	400, 000	南側廊下
ガラス3～4m		29, 400	2	58, 800	〃
水切り		3, 400	2	6, 800	〃
網戸		23, 700	2	47, 400	〃
Cfシート		3, 000	3	9, 000	〃
ガラス		4, 500	8	36, 000	〃
建具ガラス		3, 000	16	48, 000	〃
屋根太		550	20	11, 000	座敷外部屋
床板		3, 800	8	30, 400	〃
天井板		8, 000	4	32, 000	座敷
外壁材		3, 000	2	6, 000	南側座敷
畳		6, 500	8	52, 000	居間・座敷
テラス			1	400, 000	
ふすま		5, 000	8	40, 000	居間・座敷
障子		8, 000	8	64, 000	〃
とい			1	60, 000	東・西側
合計				1, 301, 400	

1. 家屋の損害額

住居全部の価額	住居の損害額
5,757,000 円	1,301,400 円

2. 断面図（水没の時は、水位を記入すること）



記入上の注意

1. 家屋の種類欄には、木造・鉄筋コンクリート造・平屋建・二階及び三階建等の別を記入してください。
2. 災害の種類欄には、水害・火災・震災・その他の別を記入してください。
3. 損害の内訳欄には、品目別毎に時価換算による損害額を記入してください。  
(現状復旧にかかる見積書を徴して記入する。)
4. 断面図については、床上水位、傾斜角度、損害の状態を赤線で記入してください。

## 家財の被害内訳書

区分	品 目	罹災前の数量・金額			左のうち被災した数量及び損害額		
		単位	数量	金 額	数量	金 額	流出沈没失破損等の区分
寝具類	布団		10	150,000			
	毛布		15	75,000			
	座布団		20	24,000	17	20,400	
衣類	男物衣服類		5	150,000			
	女物衣服類		8	80,000	4	40,000	
	肌着類		60	60,000			
家具類	タンス		4	300,000	2	150,000	
	戸棚		4	200,000	2	100,000	
	机		4	80,000	1	20,000	
	下駄箱		1	30,000	1	30,000	
	座卓		2	80,000	1	40,000	
書画	図書		400	400,000	100	100,000	
	絵画		2	120,000	2	120,000	
電気器具・炊事用具・その他	テレビ		1	160,000			
	冷蔵庫		1	150,000			
	自動車		2	2,400,000	2	2,400,000	
	バイク		1	150,000	1	150,000	
	自転車		1	30,000	1	30,000	
	洗濯機		1	50,000	1	50,000	
	あんま器		1	150,000	1	150,000	
	ガスコンロ		1	30,000			
	風呂ガス釜		1	80,000	1	80,000	
	電子レンジ		1	50,000			
	井戸ポンプ		1	40,000	1	40,000	
	電話機		1	70,000			
	掃除機		1	30,000			
	下足類		30	30,000	20	20,000	
合 計				5,169,000		3,540,400	

様式第1号(1)

一般・教育・ <b>災害</b> (○で囲む) 貸付申込書										貸付区分(○で囲む)	
医療・結婚・葬祭										<b>新規</b> ・借替	
申込金額		内	毎月償還 <b>200</b> 万円		※決定金額		内	※毎月償還		万円	
<b>200</b> 万円		訳	ボーナス償還		万円		訳	※ボーナス償還		万円	
希望する償還回数		毎月償還 <b>200</b> 回		1回当りの償還額		毎月償還		万円			
		ボーナス償還		回		ボーナス償還		万円			
給料月額		<b>325,000</b> 円		貸付種別		毎月償還		ボーナス償還			
給料月額の3/10に相当する額		<b>97,500</b> 円		一般貸付け		<b>14,067</b> 円				円	
給料月額の6/10に相当する額		<b>195,000</b> 円		住宅貸付け		<b>37,397</b> 円				円	
申込事由		<b>水害による家具類購入のため</b>		介護構造部分の貸付け						円	
対象者氏名		続柄( )		住宅災害貸付け						円	
入学又は修学する学校名				教育貸付け						円	
給与支給機関		<b>熊本県教育長</b>		災害貸付け						円	
団体信用生命保険 (教育貸付の場合のみ○で囲む)		適用・非適用		医療貸付け						円	
				結婚貸付け						円	
				葬祭貸付け						円	
				合 計		<b>51,464</b> 円				円	
受取金融機関		肥後銀行 <b>黒川</b> 支店		店番		× × × ×		普通預金口座番号		× × × × × × × ×	
<p>公立学校共済組合貸付規程に基づいて、一般貸付保険の適用を受けることし、上記金額を借り受けたいので、申し込みます。</p> <p>平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日</p> <p>公立学校共済組合熊本支部長 様</p>											
申込 人	所 属 コ ー ド		× × × × × ×		組 合 員 番 号		× × × × × × × ×				
	所 属 所 名		<b>肥後町立阿蘇小学校</b>		(TEL)		<b>000 - 000 - 0000</b>				
	現 住 所		<b>肥後郡黒川町大字白川45番地6</b>		(TEL)		<b>000 - 000 - 0000</b>				
	組合員資格取得年月日		<b>昭和・平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日</b>		引き続く組合員期間		<b>26 年</b>				
	職 名	<b>教 諭</b>	フリガナ	<b>クマモト タロウ</b>		生年月日 (年 齢)	<b>昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生</b>		満 <b>47</b> 歳		
<p>上記の記載は、事実と相違ないことを証明します。</p> <p>平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日</p>											
所 属 所 名 <b>肥後町立阿蘇小学校</b>										<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <b>小立肥学阿後校蘇町</b> </div>	
所 属 所 長 名 <b>校長 一の宮 隆</b>											

- 注意 (1) ※印の欄は、記入しないこと。
- (2) 給料月額の欄は、申込みのときにおける給料(調整額及び教職調整額を含む。)を記入すること。
- (3) 対象者氏名の欄は、一般貸付け以外の貸付けで、申込事由対象者が申込人以外の人に記入すること。
- (4) 教育貸付けについては、入学又は修学の事実を証明することのできる書類及び必要額の確認できる書類を添付すること。
- (5) 災害貸付けについては、被災の事実を証明することのできる書類を添付すること。
- (6) 医療貸付については、医療費を要する事実を証明することのできる書類を添付すること。
- (7) 結婚貸付けについては、結婚の事実を証明することのできる書類を添付すること。
- (8) 葬祭貸付けについては、死亡の事実及び組合員との続柄を証明することのできる書類を添付すること。
- (9) 申込人は自書すること。
- (10) 所属長の印章は、公印とすること。

様式第1号(1)

住宅・住宅災害 貸付申込書 (○で囲む)										貸付区分(○で囲む) 新規・借替	
申込金額		内 毎月償還 200 万円		※決定金額		内 毎月償還		万円			
200 万円		ボーナス償還		万円		※ボーナス償還		万円			
希望する償還回数		毎月償還 200 回		1回当りの償還額		毎月償還		万円			
		ボーナス償還		回		ボーナス償還		万円			
給料月額		職 級 号		貸付種別		毎月償還		ボーナス償還			
		325,0000円		一般貸付け				円			
組合員期間		10年		住宅貸付け		14067円		円			
給料の月数		6月		介護構造部分の貸付け		円		円			
給料月額の3/10に相当する額		97,500 円		住宅災害貸付け		円		円			
給料月額の6/10に相当する額		195,000 円		教育貸付け		円		円			
購入又は工事完了予定年月日		平成○年○月○日		災害貸付け		円		円			
給与支給機関		熊本県教育長		医療貸付け		円		円			
団体信用生命保険 (教育貸付の場合のみ○で囲む)		適用・非適用		結婚貸付け		円		円			
				葬祭貸付け		円		円			
				合 計		51,464 円		円			
申込事由		[住宅] A. 住宅新築 B. 増築、改築、移築 C. 修理 D. 土地付き一戸建購入 E. マンション購入(新築・中古) F. 住宅借入 L. 住宅購入 [土地] G. 更地購入 H. 底地購入 I. 更地借入 J. 底地借入 K. 補修 [その他] M. 他共済へ返済									
		該当するものを右の中から選んで○で囲む。				* 住金02		* G新築予定○年 ○月			
受取金融機関		肥後銀行 黒川 支店		店番		× × × ×		普通預金口座番号		× × × × × × × ×	
公立学校共済組合貸付規程に基づいて、一般貸付保険の適用を受けることし、上記金額を借り受けたいので、申し込みます。 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 公立学校共済組合熊本支部長 様											
申込人	所 属 コ ー ド		× × × × × ×		組合員番号		× × × × × × × ×				
	所 属 所 名		肥後町立阿蘇小学校		(TEL)		000 - 000 - 0000				
	現 住 所		肥後郡黒川町大字白川45番地6		(TEL)		000 - 000 - 0000				
	組合員資格取得年月日		昭和○ 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日		引き続き組合員期間		26 年				
	職 名		教 諭		フリガナ		クマモト タロウ		生年月日		昭和 ○ 年 ○ 月 ○ 日生
				氏 名		熊本 太郎		(年 齢)		満47歳	
上記の記載は、事実と相違ないことを証明します。 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日											
所 属 所 名 肥後町立阿蘇小学校 所属所長名 校長 一の宮 隆										小立肥 学阿後 校蘇町	

- 注意 (1) ※印の欄は、記入しないこと。  
 (2) 給料月額の欄は、申込みのときにおける給料(調整額及び教職調整額を含む。)を記入すること。  
 (3) 組合員期間の1年未満の端数は切り捨てること。  
 (4) 給料月額の欄は、貸付規程第8条に掲げる表の月数を記入すること。  
 (5) 申込時の退職手当額の欄は、貸付規程第8条に規定する退職手当の額を記入すること  
 (6) 申込人は自書すること。  
 (7) 所属長の印章は、公印とすること。

様式第3号(1)

所 属 コ ー ド	× × × × × ×
職 員 番 号	× × × × × × ×

貸付決定番号 第 号 証書番号 番号第 号

一般・特別・住宅・住宅災害  
教育・**災害**・医療・結婚  
葬祭(○で囲む)

貸付借用証書

金	千万	百万	拾万	万	千	百	拾	円
¥	2	0	0	0	0	0	0	0

公立学校共済組合貸付規定(以下「貸付規程」という。)の定めを承知の上、上記の金額を下記の条件により借用しました。

記

- 毎月償還に係る利率は、期間1月につき0.3633%(住宅災害貸付け及び災害貸付けにあつては、0.3025%)と、ボーナス償還に係る利率は、期間6月につき1.7298%(住宅災害貸付け及び災害貸付けにあつては、1.815%)とします。また、貸付規程に定める元金猶予期間における利率は、期間1月につき0.1941%とします。  
ただし、これらの利率につき貸付規程において別に定める率が適用されるときは、当該定める率とします。
- 貸付規程に定める貸付保険の保険料充当額を負担するため、別に定める率を上記1の利率に加算します。
- 借受人が組合員の資格を喪失した場合において、上記金額に未償還金額があり、かつ、借受人又は借受人の遺族若しくは相続人に支給すべき給付金(埋葬料及び家族埋葬料を除く。)又は借受人に対する退職手当(これに相当する手当等を含む。以下同じ。)が支給されるときは、当該未償還金額及び当該未償還金額に係る利息相当額(組合員資格喪失後の期間に係る利息相当額は、組合員の資格を喪失した日の前日において適用されていた利率により算出した額)を、当該給付金(当該給付金にかかる附加給付又は一部負担金の額の払戻しがあるときは、これらを含む。)及び退職手当から控除します。
- この貸付けについて公正証書を作成する必要が生じたときは、いかなる場合でもその要求に応じていただきます。
- この貸付けについて訴訟が生じたときは、借受人の現住所のいかににかかわらず、支部の所在地の裁判所をその管轄とします。

※平成 年 月 日

公立学校共済組合 熊本 支部長殿

借 受 人	所 属 所 名	肥後町立阿蘇小学校 (TEL) 000 - 000 - 0000						
	現 住 所	〒123 - 4567 肥後郡黒川町大字白川45番地6 (TEL) 000 - 000 - 0000						
	職 名	フリガナ	クマモト タロウ					
	教 諭	氏 名	熊 本 太 郎					

注意 (1) ※印の欄は、記入しないこと。  
(2) 申込人は、自書すること。

# 罹 災 証 明 書

1 罹災の場所 肥後郡黒川町大字白川45－6

2 罹災者氏名 熊本 太郎

3 罹災年月日 平成○年○月○日

4 罹災原因 集中豪雨による水害

5 罹災状況及び災害の程度

イ 住居

テラス全損 アルミサッシ全壊 障子8枚全損 襖8枚全損 畳8枚全損  
天井破損

ロ 家財及び衣類

普通乗用車1台流出 軽自動車1台流出 バイク1台流出 自転車1台流出  
洋服ダンス全壊とそれに伴う衣類品の流出 電気洗濯機流出 電気あんま機流出  
風呂ガス釜破損 井戸ポンプ破損 下駄箱流出とそれに伴う靴の流出

上記の通り罹災したことを証明します。

平成 ○年 ○月 ○日

熊本県肥後郡黒川町

町長 福岡 健

印

（注：市町村長又は消防署長、警察署長の証明）



### 1 3 災（記載例－9）

災害による減税のための確定申告をする場合、下記の申告書を提出する。

年末調整を済ませ雑損控除に該当する者と、災害減免に該当する者とは記入箇所等が違います。

詳しくは国税庁ホームページ「確定申告等情報」をご覧ください。

<http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinkoku/shotoku/kakutei.htm> (H25.11.1 時点)

[illegible][illegible]



肥 後 税務署長						住所又は居 所 肥後郡黒川町大字白川 4 5 番地 6						
災害を受けた資産の明細書						氏 名 熊本 太郎						
災害を受けた年 月 日		平成○年○月○日		被災の原因		豪雨による床上浸水のため						
災害状況	被災財産の区分		①被災直前における価額の合計額		②損害額の合計額		③保険金・損害賠償金等で補てんされた金額		④差引損害額（②－③）		⑤損害割合 ④/①	
	住 宅		12,000,000 円		820,000 円		500,000 円		320,000 円		28,7 %	
	家 財		2,370,000 円		1,158,000 円		500,000 円		658,000 円		27,8 %	
	自家用固定資産											
被災状況の内訳	①被災直前に所有していたもの					②①のうち被災後存在するもの			③撤去費等の付随費用	④損害額（①－②＋③）	被災の程度	摘 用
	被害財産の区分	品名又は構造	員数	単価	価額	員数	単価	価額				
	寝具類	布団	10 枚	1,5 万円	15 万円	4 枚	1,5 万円	6 万円	1,8 万円	10,8 万円	流出	クリーニング*
	衣類等	男物類	8 着	12 万	96 万	5 着	12 万	60 万	1,5 万	38,5 万	〃	〃
	〃	女物類	20 着	3 万	60 万	10 着	3 万	30 万	1,5 万	31,5 万	〃	〃
	家具類	タンス	6 ケ	6 万	36 万	1 ケ	6 万	6 万	0 万	30 万	〃	
	電機器具類	テレビ	1 ケ	15 万	15 万	1 ケ	15 万	15 万	4 万	4 万	破損	修理
〃	冷蔵庫	1 ケ	15 万	15 万	1 ケ	15 万	15 万	3 万	3 万	〃	〃	

◎この明細書は、災害を受けた直後にその被災状況をあらかじめ税務署に届出ようとする場合や確定申告の際に災害による雑損控除を受けようとする場合又は災害減免法の規定による所得税の減免を受けようとする場合に使用してください。


◎書き方については、裏面をお読み下さい。

平成 ○年 ○月 ○日

肥後町教育委員会

教育長 福岡 博史 様

肥後町立阿蘇小学校

校 長 一の宮 隆 

地方公務員災害補償認定請求書の提出について（具申）

このことについて、別紙のとおり提出がありましたので、下記のとおり具申します。

記

1 関係者 教諭 熊本 太郎

2 災害発生年月日 平成 ○年 ○月 ○日

3 事故の概要 別紙のとおり

4 事故発生時の服務状況  
校務分掌によるサッカー部活動担当者としての勤務中

5 事故に対する意見

本校では、熊本太郎教諭は、年度当初からサッカー部担当者に命じており、学校で定めた計画に沿って練習指導を行ってきた。それ故、熊本太郎教諭の今回の事故は、校務分掌としてサッカー部の指導を命じていなければ起こりえなかった事故である。当日も、あと一人のサッカー部担当教諭と予定どおりに練習を行っていた。そして、午後5時30分頃練習を終えて児童を下校させた。そのあと、指導者としての資質・技能の向上を目指して、また、両教諭には、サッカーに対する理解を深める意味もあつて、いわばサッカー部の教材研究として練習していたものである。正規の勤務時間は過ぎても、部活動指導者としての練習であり、校務としての勤務であると言える。

6 備考

様式第1号

公務災害認定請求書		* 認定 番号
地方公務員災害補償基金 熊本県 支部長 殿		請求年月日 平成○年○月○日
下記の災害については、公務により生じたものであることの認定を請求します。		請求者の住所 熊本県肥後郡黒川町 大字白川45番地6 ふりがな くもと たろう 氏 名 熊本 太郎 (熊) 被災職員との続柄 本人
1 被災職員に関する事項	所属団体名 肥後町立阿蘇小学校	所属部局・課・係名(電話 000-000-0000)
	共済組合員証・健康保険組合員証記号番号 公立熊本 第 ×××××× 号	
	ふりがな くもと たろう	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
	氏 名 熊本 太郎	○年○月○日生(○歳)
	職 名 教諭	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 常勤的非常勤
	災害発生の日時 平成○年○月○日(○曜日)午 6 時 00 分ごろ	前 (後)
	災害発生の場所 肥後町立阿蘇小学校運動場	
傷 病 名 右足アキレス腱断裂		
傷病の部位及びその程度 平成○年○月○日より向後1ヶ月の休養加療を要する見込み		

* 受理	平成 年 月 日	* 認定	平成 年 月 日
* 通知	平成 年 月 日		<input type="checkbox"/> 公務上 <input type="checkbox"/> 公務外

## 〔注意事項〕


- 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
- 「2災害発生の状況」又は「\*5任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。
- 「\*5任命権者の意見」の欄中□□には、下記の16種類の区分番号を記入すること。  
01 医師・歯科医師 02 看護婦 03 保健婦、助産婦 04 その他の医療技術者 05 保母・教護・寮母等 06 船員  
07 タイピスト・キーパンチャー 08 電話交換手 09 調理員 10 道路補修員 11 養護学校教員 12 養護学校教員以外の教育公務員 13 警察官 14 消防吏員 15 清掃業務員 16 その他の職員

2 災 害 発 生 の 状 況	今年度当初に、熊本太郎教諭・白水哲也教諭の両教諭は、	
	サッカー部の指導者として命じられ、計画に従って指導にあたってきました。	
	○月○日は午後4時30分頃から1時間程度練習指導し、午後5時30分に児童を	
	下校させました。その後、指導者として指導技術の向上をめざし、又、児童	
	への指導をするにあたっての糧ともなうと考えて、指導者同士で練習を行い	
	ました。パス・ドリブルなどのいろいろな練習をして、午後6時頃、最後にシュート	
	の練習をしていて、熊本太郎教諭がサッカーボールを蹴ろうとした瞬間、倒れ	
	込みました。その後、白水哲也教諭が肥後町の沖縄病院に運んで	
	くれ、診断の結果、右アキレス腱断裂のため向後1ヶ月の休養加療を要する	
	見込みと言われ、そのまま入院しました。	
* 3 所 属 部 局 の 長 の 証 明	1及び2については、上記のとおりであることを証明します。 平成○年○月○日	
	所 在 地	肥後郡肥後町大字阿蘇12番地3
	所属部局の 名 称	肥後町立阿蘇小学校
	長の職・氏名	校長 一の宮 隆
		校阿肥 長蘇後 之小町 印
4 添付する資料名	<input type="checkbox"/> 診断書 <input type="checkbox"/> 現認書又は事実証明書 <input type="checkbox"/> 交通事故証明書 <input type="checkbox"/> 第三者加害報告書 <input type="checkbox"/> 時間外勤務命令簿の写 <input type="checkbox"/> 出勤簿の写 <input type="checkbox"/> 見取図 <input type="checkbox"/> 経路図 <input type="checkbox"/> 関係規程 <input type="checkbox"/> 定期健康診断記録簿の写 <input type="checkbox"/> 既往歴報告書 <input type="checkbox"/> X線写真 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 示談書 <input type="checkbox"/> その他	
* 5 任 命 権 者 の 意 見	<div style="border: 1px dashed black; width: 80px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <p>平成      年      月      日</p> <p>任命権者の職・氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p>	

肥後町教育委員会

教育長 福岡 博史 様

肥後町立阿蘇小学校

校長 一の宮 隆 

申 立 書

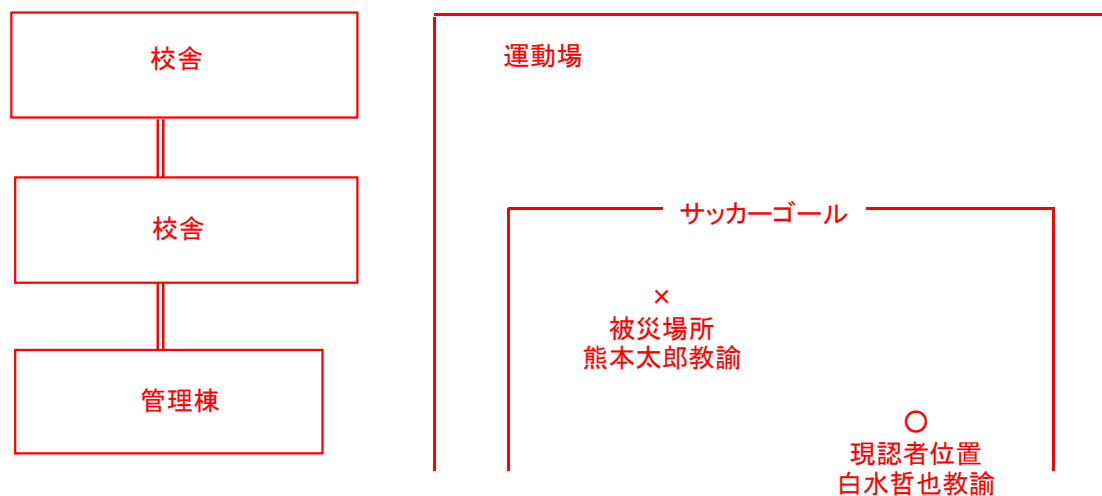
本校教諭 熊本太郎 が平成○年○月○日午後 6 : 0 0 頃、本校の運動場にて、同僚教諭 白水哲也とサッカーの練習中に右足アキレス腱断裂し、約 1 ヶ月の休養加療を要する見込みとの診断を受けました。

- 1 部活動担当者については、毎年度はじめに校務分掌をして、それぞれの部の担当を命じます。練習計画の立案、実施指導及びそれに付随する準備や練習、教材研究、児童管理等はどの部活動にも欠かせない部活動担当者の業務であり、これらは部活動担当者を命ずるときに部活動担当者としての業務の一環として、包括的に命じられているものと考えます。
- 2 熊本太郎教諭は、本年 4 月からサッカー部の指導者を命じられており、○月○日も校長より承認された計画にしたがって練習指導をし、それに連続して指導者としての練習をしていたものであります。

したがって、今回の熊本太郎教諭のサッカーの練習は、部活動担当者としての練習中に起きた事故であり、校長の職務命令を受けて職務遂行していた行為であることを申し立てます。

## 災害発生状況図

現場見取図



※被災職員の位置を明記する  
 ※現認者(目撃者)がいる場合は、現認者位置も明記する

災害発生状況図

※災害発生状況図は災害の状況が詳細にわかるよう  
 具体的に絵図または写真で説明する

### 〔注意事項〕

1. 現場見取図へは被災職員位置(災害発生場所)を明記してください(現認者がいる場合は現認者位置も明記してください)。
2. 災害発生状況図へは災害発生の場面、負傷等の部位、状況等がわかるように具体的に絵図又は写真で説明してください。

☒ 現 認 書  
☐ 災害発生状況報告書

被災職員	氏 名	熊本 太郎	
	所属部局・課・係	肥後町立阿蘇小学校 教諭	
	災 害 の 日 時	平成〇月〇月〇日 午後6時ごろ	
	災 害 の 場 所	肥後郡肥後町大字阿蘇12-3 阿蘇小学校グラウンド	
災害発生 の状況 (報告を受けた 内容とその対応)	私は、熊本太郎教諭とサッカーのシュート練習をしていました。		
	熊本太郎教諭が、ボールを蹴ろうとした瞬間、倒れたので駆け寄り、「大丈夫ですか？」と声をかけ、		
	体を起こし、そのまま足の様子を見ていました。		
	その後、熊本太郎教諭が歩けないので、車に乗せ、私が沖縄病院に送りました。		
現認者のそのときの業務			
陸上部活動指導中			
上記のとおり <u>現認しました。</u> 証明します。 平成 〇 年 〇 月 〇 日 <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div>住所</div> <div>肥後郡肥後町大字赤川89</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div>現認 (報告)者</div> <div>職</div> <div>教諭</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div>氏 名</div> <div>白 水 哲 也</div> <div style="text-align: right;"> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">白</div> <div style="font-size: small;">(印)</div> </div> </div>			

## 〔注意事項〕

- この証明書は災害の目撃者(現認者)が「現認書」として作成し、現認者がいない場合は、災害の報告を最初に受けた者が「事実証明書」として作成すること。
- 現認者(又は報告者)は自分がどのような状況で現認した(報告を受けた)かをできるだけ詳記すること。

\* 被災職員の申立てを裏付ける重要な書類となるので、被災の態様をありのままに記載すること。

(指定医療機関以外の医療機関を受けて、治療費の受領を医療機関に委任した場合)

様式第6号

1 号 紙

療養補償請求書

認定番号 請求回数		※※※※-※※ 第○回(△年×月分)	
地方公務員災害補償基金 熊本県 支部長 殿		請求年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日	
下記の療養補償を請求します。		請求者の住所 肥後郡黒川町大字白川 45番地6	
		ふりがな くもと たろう 氏 名 熊本 太郎 熊印	
1 補償費用の受領委任	この請求書による療養補償の費用の受領を 沖縄病院 に委任します。		
	委任者の氏名 熊本 太郎 熊印		
	上記委任に基づき、この請求書による療養補償の費用の支払を請求します。		
受任者の		住所 肥後郡肥後町大字阿蘇98番地7	
		医療機関等の名称 沖縄病院	
		氏名(代表者名) 院長 沖縄 和男 院印 院印 院印	
2 被災する職員事項	所属団体名 肥後町立阿蘇小学校		所属部局名 (電話番号 000-000-0000)
	氏名 熊本 太郎		職名 教諭 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 常勤的非常勤
	○年○月○日生(○歳)		負傷又は発病の年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
3 診療費	内訳は「*10 診療費請求明細」欄記載のとおり		円
4 調剤費	内訳は「*11 調剤費請求明細」欄記載のとおり		円
5 看護料	<input type="checkbox"/> 訪問看護 内訳は「*12 訪問看護事業者の証明」欄記載のとおり		円
	<input type="checkbox"/> 看護婦 平成 年 月 日から 日間		
	<input type="checkbox"/> 付添婦 平成 年 月 日まで		
6 移送費	<input type="checkbox"/> 交通費		円
	から まで キロメートル <input type="checkbox"/> 片道 <input type="checkbox"/> 往復		
	<input type="checkbox"/> その他の移送費		
7 上記以外の療養費			円
8 療養補償請求金額 (3~7の合計額)			円
9 送金希望の場合	振込み	振込先金融機関名 肥後 銀行 肥後 支店	預金名義者名 沖縄病院
		口座番号 ※※※※※※※	
		<input checked="" type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金	
	送金小切手	銀行 支店	(フリガナ) オキナワ カズオ
その他		氏名 沖縄 和男	
*受理 平成 年 月 日		*通知 平成 年 月 日	*支払 平成 年 月 日
		*決定金額 円	

【注意事項】

- 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□に ☒ を記入すること。
- 「認定番号」の欄は、第1回目の請求においては、記入する必要はないこと。
- 「1 補償費用の受領委任」の欄は、診療に当たった医師、若しくは医療機関等、調剤に当たった薬剤師若しくは薬局又は訪問看護を行った訪問看護事業者に療養補償の費用の受領を委任しようとする場合にのみ記入すること。
- 「5 看護料」及び「6 移送費」については、訪問看護の場合を除き、費用の領収書又はこれに代わる証明書及び明細書を添付すること。
- 「7 上記以外の療養費」の欄には、入院料に食事代を含まない場合の食料及び「3 診療費」に含まれない療養に必要な治療材料の名称、数量及び費用を記入し、その領収書及び明細書を添付すること。
- 「\*10 診療費請求明細」、「\*11 調剤費請求明細」又は、「\*12 訪問看護事業者の証明」の欄の記入に代えて同様事項を記載した医師、歯科医師若しくは柔道整復師、薬剤師又は訪問看護事業者の証明書を添付してもよいこと。
- 「診療報酬点数表により計算できないもの」の欄には、金額及びその明細(例えば診断書料、入院室料差額等)を記入すること。
- 「請求者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。



(指定医療機関以外の医療機関を受けて、治療費の受領を医療機関に委任した場合)

様式第6号

1 号 紙

療養補償請求書

認定番号	※※－※※※※※※
請求回数	第○回(△年×月分)

地方公務員災害補償基金 熊本県 支部長 殿	請求年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
下記の療養補償を請求します。	請求者の住所 肥後郡黒川町大字白川 45番地6
	ふりがな くまもと たろう 氏 名 熊本 太郎 (印)

1 補償費用の受領委任	この請求書による療養補償の費用の受領を _____ に委任します。 委任者の氏名 _____ (印)	
	上記委任に基づき、この請求書による療養補償の費用の支払を請求します。 受任者の { 住所 _____ 医療機関等の名称 _____ 氏名(代表者名) _____ (印)	

2 被災する職員事項	所属団体名 肥後町立阿蘇小学校	所属部局名 (電話番号 000-000-0000)
	氏 名 熊本 太郎	職 名 教諭 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 常勤の非常勤
	○ 年 ○ 月 ○ 日生 (○ 歳)	負傷又は発病の年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

3 診療費	内訳は「*10 診療費請求明細」欄記載のとおり	81,120 円
-------	-------------------------	----------

4 調剤費	内訳は「*11 調剤費請求明細」欄記載のとおり	円
-------	-------------------------	---

5 看護料	<input type="checkbox"/> 訪問看護 内訳は「*12 訪問看護事業者の証明」欄記載のとおり	25,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 看護婦 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日から ○ 日間	
	<input type="checkbox"/> 付添婦 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日まで	

6 移送費	<input checked="" type="checkbox"/> 交通費	2,000 円
	自宅 から 肥後病院 まで 10 キロメートル <input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復 2 回	
	<input type="checkbox"/> その他の移送費	

7 上記以外の療養費	マッサージ料	2,000 円
------------	--------	---------

8 療養補償請求金額 (3～7の合計額)	110,120 円
----------------------	-----------

9 送金希望の場合	振込み	振込先金融機関名 肥後 銀行 黒川 支店	預金名義者名 (フリガナ) クマモト タロウ 氏 名 熊本 太郎
		口座番号 ※※※※※※※※	
		<input checked="" type="checkbox"/> 普通預金 <input type="checkbox"/> 当座預金	
	送金小切手 銀行 支店		
その他			

*受理 平成 年 月 日	*通知 平成 年 月 日	*支払 平成 年 月 日	*決定金額 円
--------------	--------------	--------------	---------

【注意事項】

- 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□に ☒ を記入すること。
- 「認定番号」の欄は、第1回目の請求においては、記入する必要はないこと。
- 「1 補償費用の受領委任」の欄は、診療に当たった医師、若しくは医療機関等、調剤に当たった薬剤師若しくは薬局又は訪問看護を行った訪問看護事業者に療養補償の費用の受領を委任しようとする場合にのみ記入すること。
- 「5 看護料」及び「6 移送費」については、訪問看護の場合を除き、費用の領収書又はこれに代わる証明書及び明細書を添付すること。
- 「7 上記以外の療養費」の欄には、入院料に食事代を含まない場合の食料及び「3 診療費」に含まれない療養に必要な治療材料の名称、数量及び費用を記入し、その領収書及び明細書を添付すること。
- 「\*10 診療費請求明細」、「\*11 調剤費請求明細」又は、「\*12 訪問看護事業者の証明」の欄の記入に代えて同様事項を記載した医師、歯科医師若しくは柔道整復師、薬剤師又は訪問看護事業者の証明書を添付してもよいこと。
- 「診療報酬点数表により計算できないもの」の欄には、金額及びその明細(例えば診断書料、入院室料差額等)を記入すること。
- 「請求者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。

(指定医療機関で療養を受けた場合)

13災(記載例-17)

様式第5号

療養の給付請求書			認定 番号	〇〇-〇〇〇〇〇〇		
地方公務員災害補償基金 熊本県 支部長 殿  下記の指定医療機関等における療養の給付を請求します。			請求年月日 平成〇年〇月〇日			
			請求者の住所 熊本県肥後郡黒川町 大字白川45番地6 ふりがな くもと たろう 氏 名 熊本 太郎 熊本 ⑩			
1 被災職員に 関する事項	所属団体名 肥後町立阿蘇小学校		所属部局名			
	氏 名 熊本 太郎		職 名 教諭 <input checked="" type="checkbox"/> 常 勤 <input type="checkbox"/> 常勤的非常勤			
2 療養を受けようとする 指定医療機関等	(新)	所在地	肥後郡肥後町大字阿蘇98番地7			
		名 称	沖縄病院			
	(旧)	所在地				
		名 称				
* 受 理		平成 年 月 日		* 通 知	平成 年 月 日	
* <input type="checkbox"/> 支 給 決定 <input type="checkbox"/> 不支給		平成 年 月 日				

〔注意事項〕

- 1 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ 印を記入すること。
- 2 「2 療養を受けようとする指定医療機関等」の欄には、該当者が療養を受けようとする指定医療機関等の所在地及び名称を記入し、現在療養を受けている指定医療機関等を変更しようとする場合には、新旧の指定医療機関等の所在地及び名称を記入すること。
- 3 「請求者の氏名」の欄は、記名押印することに代えて、自筆による署名をすることができる。

（指定医療機関で療養を受けた場合）  
支部様式第20号

地方公務員災害補償基金  
療養費請求書

地方公務員災害補償基金 熊本県支部長様			
下記の療養費を請求します。			
平成 年 月 日			
指定医療機関の	郵便番号 所在地 名称 氏名 電話番号	⑩	
請求金額		円	
(請求金額の内訳は裏面のとおり)			
※負傷又は発病年月日	平成○年○月○日	※認定番号	○○－○○○○○○
※所属部局		※被災者氏名	熊本 太郎
傷病の経過			
転 婦	平成 年 月 日		
(該当事由に○印を記入ください)	治ゆ	継続	転医
			中止
			死亡
送金先	振込先金融機関名	銀行	支店
	預金科目	□普通預金No.	□当座預金No.
	フリガナ 預金名義		

注1 医療機関の方へ

(1) この請求書は、公務上又は通勤より負傷し又は疾病にかかった地方公務員が診療を受ける際に使用するものです。

なお、療養に要した費用は、地方公務員災害補償基金熊本支部から口座振替の方法により直接払いますので本人には請求しないでください。

(2) 地方公務員災害補償法に基づく療養補償に対する消費税は非課税となります。

(3) 請求の際は、通常使用されている療養費請求内訳書の写しを添付してください。

(4) 傷病の経過及び転婦の欄は、必ず記入してください。

(5) 請求に当たり疑義のある場合は、地方公務員災害補償基金熊本支部 (Tel 096-383-1111) にお問い合わせください。

2 被災職員（所属事務担当者）へ

(1) この請求書用紙は、国立熊本病院、国立療養所再春荘病院、国立療養所熊本南病院国立療養所三角病院、国立療養所菊池病院、国立療養所菊池恵楓園、熊本労災病院、熊本中央病院、済生会熊本病院、熊本赤十字病院、日本赤十字社熊本県支部療養所健康管理センターで受診する場合にのみ使用してください。

(2) ※印欄は、被災職員（所属担当者）が記入してください。

(3) 初診の際は、この用紙のほかに療養の給付請求書（様式第5号）を必ず提出してください。

13 災（記載例－19）

阿 蘇 小 第 1 2 3 号

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

肥後町教育委員会

教育長 福岡 博史 様

肥後町立阿蘇小学校

校長 一の宮 隆

地方公務員災害補償認定請求書の提出について（意見具申）

このことについて、別紙のとおり提出がありましたので、下記のとおり具申します。

#### 記

- 1 関係者 教諭 熊本 太郎
- 2 災害発生年月日 平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日
- 3 事故の概要 （別紙のとおり）
- 4 事故発生時の服務状況 通勤中
- 5 事故に対する意見  
通常の勤務経路及び、方法により帰宅中の災害で、通勤災害に該当するものとする。
- 6 備考

## 通勤災害認定請求書

		*認定 番号		
地方公務員災害補償基金 熊本県 支部長 殿		請求年月日 平成 〇 年 〇 月 〇 日		
下記の災害については、通勤により生じたものであることの認定を請求します。		請求者の住所 肥後郡黒川町大字白川 45番地6		
		ふりがな くまもと たろう 氏 名 熊本 太郎 熊本 印		
		被災職員との続柄 本人		
1 被災 職員 に 関 す る 事 項	所属団体名	肥後町立阿蘇小学校		
	所属部局・課・係名（電話 〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇）	〃		
	共済組合員証・健康保険組合員証記号番号	公立熊本 第 ××××××× 号		
	ふりがな くまもと たろう 氏 名 熊本 太郎	S〇年 〇月 〇日 □男 □女 生（ 〇歳）		
	職 名 教諭	□常 勤 □常勤的非常勤		
	災害発生の日時	平成 〇年 〇月 〇日（〇曜日） 前 午後 6時30分ごろ		
	災害発生の場所	肥後郡肥後町国道777号線		
	傷 病 名 頸椎損傷			
傷病の部位及びその程度		頸椎損傷100日入院予定		

* 受 理	平成 年 月 日	* 認 定	平成 年 月 日
* 通 知	平成 年 月 日		□該 当 □非 該 当

## 〔注意事項〕

- 請求者は、\*印の欄には記入しないこと。また、該当する□にレ印を記入すること。
- 「職名」の欄には、職員が災害を受けた当時の職名を、例えば自動車運転手、車掌、守衛、主事、技師、教諭、船員、用務員、作業員、巡査、消防士等と記入すること。
- 「通勤」とは、職員が、勤務のため、住居と勤務場所との間を、合理的な経路及び方法により往復することをいい（公務の性質を有するものを除く。）職員が、この往復の経路を逸脱し、又はこの往復を中断した場合においては、その逸脱又は中断の間及びその後の往復は、上記の通勤には該当しないこと。  
ただし、その逸脱又は中断が、日常生活上必要な行為であって総務省令で定めるものをやむを得ない事由により行うための最小限度のものである場合は、その逸脱又は中断の間を除き、この限りではないこと。

2 災 害 発 生 の 状 況 等	(1) 災害発生の日の勤務開始（予定）時刻又は勤務終了の時刻	午前 5時 15分ごろ						
	(2) 災害発生の日に住居を離れた時刻	午前 時 分ごろ						
	(3) 災害発生の日に勤務場所を離れた時刻	午後 6時 25分ごろ						
	(4) 災害発生の状況							
	勤務終了後、通勤届に示す経路及び方法で退庁、学校より							
	1, 5 km ぐらい離れた肥後郡肥後町国道 777 号線交差点で							
	停車していたところ、後ろより大型トラックの脇見運転により							
	追突されたのである。							
	その後、救急車で公立肥後病院に運ばれ診断の結果、頸椎							
	損傷と診断され、入院したものである。							
* 3 所長 属の 部証 局明 の	1 及び 2 については、上記のとおりであることを証明します。 平成 ○年 ○月 ○日 所属部局の <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">所 在 地</td> <td>肥後郡肥後町大字阿蘇 1 2 - 3</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">名 称</td> <td>肥後町立阿蘇小学校</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 5px;">長の職・氏名</td> <td>校長 一の宮 隆 印</td> </tr> </table>		所 在 地	肥後郡肥後町大字阿蘇 1 2 - 3	名 称	肥後町立阿蘇小学校	長の職・氏名	校長 一の宮 隆 印
所 在 地	肥後郡肥後町大字阿蘇 1 2 - 3							
名 称	肥後町立阿蘇小学校							
長の職・氏名	校長 一の宮 隆 印							
4 添付する資料名	<input type="checkbox"/> 診断書 <input type="checkbox"/> 現認書又は事実証明書 <input type="checkbox"/> 交通事故証明書 <input type="checkbox"/> 第三者加害報告書 <input type="checkbox"/> 通勤届の写 <input type="checkbox"/> 時間外勤務命令簿の写 <input type="checkbox"/> 出勤簿の写 <input type="checkbox"/> 見取図 <input type="checkbox"/> 経路図 <input type="checkbox"/> 関係規程 <input type="checkbox"/> 定期健康診断記録簿の写 <input type="checkbox"/> 既往歴報告書 <input type="checkbox"/> X <input type="checkbox"/> 線写真 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 示談書 <input type="checkbox"/> その他							
* 5 任 命 権 者 の 意 見	平成 年 月 日 任命権者の職・氏名 印							

したがって、「2 災害発生の状況等」の欄には、災害が上記の通勤により生じたものであることが明らかとなるよう、その状況を記入すること。

4 「2 災害発生の状況等」又は「\* 5 任命権者の意見」の欄の記入に当たって別紙用紙を用いるときは、本欄には「別紙のとおり」と記入し、その別紙について所属部局の長の証明を受け、又は任命権者の意見の記入を求めること。

5 「2 災害発生の状況等」の(1)の欄には、災害が出勤の際に生じたものである場合は、勤務開始（予定）時刻を、災が退勤の際に生じたものである場合は、勤務終了の時刻を記入すること。また、(2)の欄は、災害が出勤の際に生じた場合に、(3)の欄は、災害が退勤の際に生じた場合にそれぞれ記入すること。

## 事故発生状況報告書

保険証明書番号	第〇〇〇〇〇号	当事者	甲(加害運転者)	氏名	宮崎 達也	
自動車番号	熊本〇〇 〇〇-〇〇		乙(被害者)	氏名	熊本 太郎	運転・同乗 歩行・その他
天候	晴・雲・雨・雪・霧	明 暗	昼間・夜間・明け方・夕方	交通状況	混雑・普通・閑散	
道路状況	舗装	<input checked="" type="checkbox"/> してある <input type="checkbox"/> してない		歩道(両・片)	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	直線・カーブ
	見通し	<input checked="" type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 悪い		平坦・坂	積雪・凍結	
信号又は標識	信号	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		駐・停車禁止	<input checked="" type="checkbox"/> されている <input type="checkbox"/> されていない	その他標識
速度	甲車両 20 km/h(制限速度 40 km/h)、乙車両 0 km/h(制限速度 40 km/h)					
事故発生状況略図(道路幅をmで記入してください)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; padding-right: 10px;">           事故現場における自動車と被害者との状況を図示してください。         </div> <div style="flex-grow: 1;"> <div style="position: absolute; top: 40%; left: 20%;">           肥後なかよし幼稚園 O         </div> <div style="position: absolute; top: 45%; left: 55%;">Oガリンスタ</div> <div style="position: absolute; top: 58%; left: 35%;">NTT O</div> <div style="position: absolute; top: 58%; left: 55%;">O肥後スター</div> <div style="position: absolute; top: 48%; left: 25%;">           大型トラック X 被災場所         </div> <div style="position: absolute; top: 48%; left: 35%;">車</div> </div> <div style="position: absolute; top: 47%; left: 75%;">           自車             相手者             進行方向 ↑            信号             一時停止             人間             自転車 }             オートバイ }  </div> </div>					
	上記の説明を書き	信号待ちしていたところ、後続車が停止せずに追突してきたものである。				

別紙交通事故証明書に補足して上記のとおりご報告申し上げます。

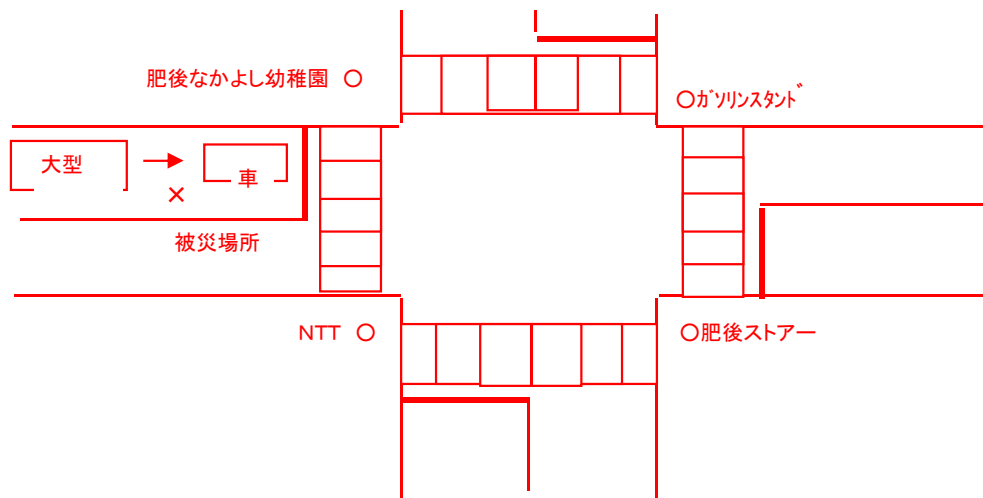
平成 年 月 日

報告者 被災職員との関係( )

㊞

## 災害発生状況図

### 現場見取図



※被災職員の位置を明記する

### 災害発生状況図

※災害発生状況図は災害の状況が詳細にわかるよう  
具体的に絵図または写真で説明する

### 〔注意事項〕

1. 現場見取図へは被災職員位置(災害発生場所)を明記してください(現認者がいる場合は現認者位置も明記してください)。
2. 災害発生状況図へは災害発生の場面、負傷等の部位、状況等がわかるように具体的に絵図又は写真で説明してください。



第三者加害報告書

平成 〇年 〇月 〇日

地方公務員災害補償基金熊本県支部長 殿

所属部局長 肥後町立阿蘇小学校

氏 名 校長 一の宮 隆

校 阿 肥  
長 蘇 後  
之 小 町  
印 学 立

下記のとおり第3者の加害行為によって災害が発生したので報告します。

被 関 災 す 職 る 員 事 に 項	(所属団体名) 肥後町立阿蘇小学校		(所属部局)
	(氏 名) 熊本 太郎		(職名) 教諭
	〇年 〇月 〇日 (〇歳)		(災害発生の日時) 平成 〇年 〇月 〇日 6時 30分頃
加 害 者 に 関 す る 事 項	(住 所) 宮崎県日南郡日南村 78番地9		(職業又は事業の内容) 業務遂行中 運送業 業 務 外
			(勤務先及び所在地) 宮崎運送 (株)
	(氏 名) 肥後 守 〇年 〇月 〇日生 (〇歳)		(代表者の役職氏名) 宮崎運送 (株) 社長 宮崎 達也
第 三 者 （ 加 害 者 ） の 関 連 事 項	自動車の所有者	住 所	宮崎県日南郡日南村 78番地9
		氏 名	宮崎 達也
		運 転 者 と 所 有 者 又は 使用者との関係	

加 関 害 す 車 の 事 項	車 種	大型トラック
	登 録 番 号	熊本〇〇〇 〇〇－〇〇
	車 台 番 号	〇〇〇－〇〇〇〇〇〇〇〇
第 三 者 （ 加 害 者 ） が 加 入 し て い る 自 動 車 損 害 保 険 （ 共 済 ） 関 係 事 項	自動車損害賠償責任保険 （共済）証明書番号	〇〇〇－〇〇〇〇〇
	保険（共済）契約者の 住 所 及 び 氏 名	宮崎県日南郡日南村 7 8 番地 9 宮崎運送株式会社 社長 宮崎 達也
	保険（共済）契約期間	自 平成 〇年 〇月 〇日 至 平成 〇年 〇月 〇日
	契約保険（共済）会社名	鹿児島火災海上保険（株）
第 三 者 （ 加 害 者 ） の 任 意 保 険 に 関 する 事 項	任意保険契約の有無	有 無
	保険契約者の住所氏名	宮崎県日南郡日南村 7 8 番地 9 宮崎運送株式会社 社長 宮崎 達也
	保 険 契 約 期 間	自 平成 〇年 〇月 〇日 至 平成 〇年 〇月 〇日
	契 約 保 険 会 社 名	鹿児島火災海上保険（株）
	証 券 番 号	〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇
第 三 者 （ 加 害 者 ） の 賠 償 に 関 する 事 項	金 額 内 容 及 び  受 領 年 月 日	なし
示 す 談 る に 事 関 項	示談の話し合い中の場合は その経過（示談締結の場 合）は、示談書（写）を 提出のこと）	なし
そ の 他 参 考 の 事 項	なし	

## 災害状況報告書

被災職員	氏 名	熊本 太郎
	所属部局・課・係	肥後町立阿蘇小学校
	災 害 の 日 時	平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 午後○時
	災 害 の 場 所	肥後郡肥後町大字阿蘇12-3

災 害 状 況

私が、職員室で事務整理をしておりましたところ、熊本太郎教諭が足を引きずりながら入ってきました。「どうしたのですか。」と尋ねましたら、「サッカーのシュートの練習をしていたら、ボールを蹴る瞬間に右足首に激痛が走り、歩くのも困難なほどの痛みがあります。」とのことでしたので、私が車に乗せ、沖縄病院へ連れて行きました。

上記のとおり相違ありません。

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日

報告者住所 肥後郡肥後町大字赤川89番地

職 教諭

氏 名 白水 哲也

白水 印

## 〔注意事項〕

- この報告書は、災害の現認者がおらず現認書を提出できない場合で、災害状況の報告を最初に受けた者が作成するものです。

## 治 ゆ 報 告 書

		認定番号	〇〇〇〇－〇〇
地方公務員災害補償基金熊本支部長 殿		平成 〇 年 〇 月 〇 日	
報告者の住所 氏 名		肥後郡黒川町大字白川 45 番地 6 熊本 太郎 印	
下記のとおり治ゆしましたので報告します。			
所 属 団 体 部 局	肥後町立阿蘇小学校		
被 災 職 員 職 氏 名	教諭 熊本 太郎		
災 害 発 生 の 日 時	平成〇年〇月〇日		
災 害 発 生 の 場 所	肥後郡肥後町国道		
傷 病 名 ・ 部 位	頰椎損傷		
治 ゆ 年 月 日 (症状の固定を含む)	平成 〇 年 〇 月 〇 日		
障 害 の 有 無	有 無		
障 害 の 程 度 (障害有の場合にできるだけ具体的に記入してください。)			
医 療 機 関 名	沖縄病院		
そ の 他 の 参 考 事 項			
上記のとおり相違ないことを証明します。			
平成 〇 年 〇 月 〇 日		肥後町立阿蘇小学校 校長 一の宮 隆 印	
所属部局の長の職氏名			

(注) 障害の有無の欄は、傷病が治ったとき（症状の固定を含む）、地方公務員災害補償法別表に定める程度の障害があるかないかについて記入すること。

地方公務員災害補償基金  
熊本県支部長 殿